

令和6年度

委員会だより

NO. 3

組織・連携委員会編 北海道PTA連合会

令和6年12月7日（土）に今年度最後の第3回委員会が開催されました。

《今年度の取組や研究のまとめと次年度の方向性等についての協議》

【成果】

- ・単位PTAにアンケートを実施し、持続可能なPTA活動の取組内容や組織体制の改編、地域と連携・協働した活動事例等の情報を共有するとともに、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちの教育を積極的に推進する役割を担う組織の在り方の研究を深化させることができた。
- ・各地域の情報交流を行うことにより、年間を通し様々な地域の活動の工夫や悩みなどを共有し、課題解決を図ることができた。
- ・単位PTAから情報収集した「持続可能なPTA活動・組織」や「学校と家庭・地域の連携・協働体制」の情報をもとに、令和8年度函館大会での提言に向けた重点を競技することができた。

【課題】

- ・各地区の取組や情報の全道PTAへの積極的な情報発信。全道大会や役員会等を通じた情報発信。
- ・学校と家庭・地域による一層の協働とPTAが担うべき役割についての検討。
- ・委員会で交流される貴重な情報を全地域の活動に還元していく工夫。

【次年度の方向性】

- ・持続可能なPTA活動・組織について協議の継続。
- ・学校と家庭・地域が一体となって子どもを支える連携・協働体制の構築。
- ・各地区の取組や情報の全道PTAへの積極的な発信、共有。
- ・令和8年度研究大会での提言、発表に向けた具体的な取組の推進。

《参加した委員から各地区の実践と情報の交流》

- * 情報、取組をどう発信するか課題。スマホの課題、SNSの使い方、インターネットの活用方法など学校の授業で指導の必要性。
 - * 道P、全道の取組を地区Pで報告しても興味を持たれていない。単Pならもっと意識低い。なかなか伝わらない。志、温度差の違い。
 - * 体力測定、救命等、子どもと一緒にでの参加を工夫し取り組んだが、参加が少ない。
 - * 単Pや市町村Pでメール、SNSを活用した方法も必要（案内、取組発信）
 - * PTAの役員に女性を増やす取組。道Pの助言を生かし体制の見直し。
 - * 普段やっていることを文字、行動でみせ共感してもらうこと大切。
 - * 道Pでアイデアもらう。この会の大切さを再認識。
 - * 地域と子どもをつなげる工夫。親以外の方からほめてもらう機会をつくる。
 - * 地域のお年寄り子どもをほめてくれる。子どもはほめてのばす（いいところを見つける）。
 - * 小規模校のとりくみ 地域を巻き込む。
 - * 挨拶運動で子どもから直接お礼して、学校でも放送で外に対してお礼を伝えている。
 - * 地域を大切にするとりくみ
 - * 地域参観日におじいちゃんおばあちゃん参観日を設けてもらった。授業で昔話や今と昔の遊びの違いなど、おじいちゃんおばあちゃんと話す機会を作ってもらった。
 - * 普段から地域に声かけ案内していく。疎外するのではなく地域を取り込む工夫。
 - * とりくみは充実したが、教頭の負担増が課題。役割分担重要。業務の偏りつからない。
- * 委員の皆様には、お忙しい中、委員会へのご出席、ご意見をいただき、ありがとうございました。また、各地区での活動もありがとうございました。今後ともよろしく願いいたします。
- * 「委員会だよりNO. 3」は道P連のホームページ「組織・連携委員会だより」に掲載されます。

北海道PTA連合会事務局

〒060-0001 札幌市中央区北1条西3丁目

S T V時計台通ビル6階

TEL (011)251-6937 FAX (011)210-0929

Eメールアドレス info@hokkaido-pta.jp